



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月12日

上場会社名 株式会社ムロコーポレーション 上場取引所 東
 コード番号 7264 URL http://www.muro.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 室 雅文
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長兼 (氏名) 山口 誉 (TEL) 03-3703-4123
 総務人事部長
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績 (平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	9,269	5.7	852	25.0	808	△9.4	576	22.1
27年3月期第2四半期	8,765	9.5	682	46.7	893	59.5	472	29.2

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 514百万円(△1.6%) 27年3月期第2四半期 522百万円(△7.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	93.18	—
27年3月期第2四半期	76.34	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	18,308	11,828	64.6	1,911.99
27年3月期	17,867	11,468	64.2	1,853.84

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 11,828百万円 27年3月期 11,468百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,790	5.3	1,680	21.8	1,838	△2.8	1,210	8.5	195.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

28年3月期2Q	6,546,200株	27年3月期	6,546,200株
28年3月期2Q	359,884株	27年3月期	359,884株
28年3月期2Q	6,186,316株	27年3月期2Q	6,186,316株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続きは終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法について）

当社は、平成27年11月25日（水）にアナリスト向け説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明資料を開催後速やかにホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、雇用回復を受けて金利引き上げ時期を探る米国やギリシャの債務問題を先送りにした欧州が比較的堅調に推移しましたが、7～9月期の米国経済には減速感が見られ、9月末に発覚したVWの排ガス不正問題で欧州がつまずき、先行きの不透明感が増しております。また、中国経済の減速と不透明な施策が市場を揺さぶり、これが中国への依存度が高い国々の経済にも波及し、全体的には一層の減速懸念を感じさせる不透明な情勢の中で推移しました。

一方、国内経済は、雇用や設備投資、貿易収支などで緩やかな持ち直しの動きが続いておりますが、増税に伴う軽自動車市場の失速や個人消費の伸び悩み等により、基礎的な経済状況は比較的良好に見受けられる割には低調に推移しました。

当社グループの主要取引先であります自動車業界の当第2四半期連結累計期間の状況は、国内販売台数は2,329千台（前年同期比5.8%減）と軽自動車販売の大幅な落ち込みもあり減少、輸出台数は2,230千台（前年同期比0.2%減）と微減、国内生産台数は4,446千台（前年同期比7.0%減）と減少し、全ての指標で減少しました。一方、日系自動車メーカーの1～6月の海外生産台数は8,966千台（前年同期比2.9%増）と増加しましたが、国内4～9月と海外1～6月を合わせた日系自動車メーカーのグローバル生産台数は13,413千台（前年同期比0.6%減）と国内の落ち込みが大きく影響し減少となりました。

このような状況の中、当社グループの連結売上高は、円安効果とインドネシア子会社の売上伸長に伴い、9,269百万円（前年同期比5.7%増）と増加しました。営業利益につきましては、売上の増加と改善効果により、852百万円（前年同期比25.0%増）と増加しました。経常利益につきましては、前年同期に発生した円安による対ドルでの為替差益が無くなったことに加え、インドネシアルピア安による対ドルでの為替差損がインドネシア子会社において増大したことに伴い、808百万円（前年同期比9.4%減）と減少しました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、前年同期に発生した特別損失が無くなったことにより、576百万円（前年同期比22.1%増）と増加しました。

当第2四半期連結累計期間における報告セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 車輦関連部品

当第2四半期連結累計期間の当事業の売上高は、8,675百万円（前年同期比4.0%増）と増加しました。国内につきましては、軽自動車とトラックの生産が前年同期比で減少しましたが、海外生産と普通乗用車においては前年同期比で増加となり、海外生産対応品や新機種・次期開発品の受注が増加したことにより微増となりました。海外につきましては、円安効果とインドネシア子会社の売上伸長により増加しました。

② その他

当第2四半期連結累計期間の当事業の売上高は、594百万円（前年同期比39.3%増）と増加しました。国内につきましては、連続ねじ締め機関連の売上が堅調に推移しましたことと、建築部材用設備や太陽光発電関連部材の売上が伸長したことにより増加しました。海外につきましては、欧州はユーロ安に伴う買い控えもあり減少しましたが、カナダでは受注が伸びた上にドル高効果が上乗せされたことと、米国の住宅市場が堅調に推移しましたことにより増加しました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

総資産は、18,308百万円となり、前連結会計年度に比べ440百万円増加しました。主な増加は現金及び預金310百万円、電子記録債権86百万円、商品及び製品65百万円、投資有価証券70百万円、投資その他の資産の繰延税金資産61百万円、退職給付に係る資産57百万円であり、主な減少は有形固定資産206百万円であります。

(負債の部)

負債は、前連結会計年度に比べ80百万円増加し6,480百万円となりました。主な増加は未払金66百万円、未払法人税等95百万円、長期借入金384百万円、退職給付に係る負債12百万円であり、主な減少は短期借入金100百万円、1年内返済予定の長期借入金231百万円、流動負債のその他119百万円、固定負債の繰延税金負債14百万円であります。

(純資産の部)

純資産は前連結会計年度に比べ359百万円増加し、11,828百万円となりました。主な増加は親会社株主に帰属する四半期純利益576百万円であり、主な減少は剰余金の配当金154百万円及びその他有価証券評価差額金の減少62百万円によるものであります。

以上の結果、自己資本比率は64.6%（前連結会計年度は64.2%）となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ、296百万円増加し3,887百万円（前連結会計年度末比8.3%増）となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は868百万円（前年同四半期比313.7%増）となりました。これは売上債権の増加額88百万円、たな卸資産の増加額84百万円、法人税等の支払額160百万円などの資金の流出があったものの、税金等調整前四半期純利益803百万円、減価償却費445百万円、未払金の増加額27百万円などの資金の流入があったことによります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は411百万円（前年同四半期比31.3%減）となりました。これは有形固定資産の取得による支出225百万円、投資有価証券の取得による支出158百万円などの資金の流出があったことによります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は152百万円（前年同四半期比24.6%減）となりました。これは長期借入れによる収入500百万円があったものの、長期借入金の返済による支出390百万円、短期借入金の純減少額100百万円、配当金の支払額154百万円などの資金の流出があったことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の連結業績予想につきましては、平成27年11月11日に「業績予想の修正」で発表いたしました業績予想に変更はありません。また通期の連結業績予想につきましては、平成27年5月14日に「平成27年3月期決算短信」で発表いたしました業績予想を変更しておりません。なお、予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因の変化によって大きく異なる結果となる可能性があります。今後修正の必要性が生じた場合は、適時かつ適切に開示してまいります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（企業結合に関する会計基準の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,858,032	4,168,495
受取手形及び売掛金	2,948,667	2,949,459
電子記録債権	1,027,292	1,114,167
商品及び製品	562,084	627,696
仕掛品	280,419	296,458
原材料及び貯蔵品	320,252	320,287
繰延税金資産	170,399	159,656
その他	271,796	273,876
流動資産合計	9,438,944	9,910,097
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,750,528	5,754,396
減価償却累計額	△3,639,418	△3,695,100
建物及び構築物(純額)	2,111,110	2,059,296
機械装置及び運搬具	11,141,034	11,151,496
減価償却累計額	△8,625,387	△8,804,692
機械装置及び運搬具(純額)	2,515,647	2,346,803
土地	1,760,330	1,736,117
建設仮勘定	89,148	145,178
その他	4,877,365	4,969,019
減価償却累計額	△4,551,025	△4,660,588
その他(純額)	326,340	308,431
有形固定資産合計	6,802,576	6,595,827
無形固定資産	151,672	144,330
投資その他の資産		
投資有価証券	1,058,992	1,129,051
長期貸付金	22,159	21,069
繰延税金資産	20,239	81,652
退職給付に係る資産	—	57,968
その他	378,398	373,592
貸倒引当金	△4,986	△4,956
投資その他の資産合計	1,474,802	1,658,379
固定資産合計	8,429,051	8,398,536
資産合計	17,867,996	18,308,633

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,582,614	2,584,647
短期借入金	300,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	465,608	234,564
未払金	687,120	753,334
未払法人税等	149,216	244,421
賞与引当金	337,472	333,554
役員賞与引当金	16,280	12,842
その他	498,042	378,066
流動負債合計	5,036,356	4,741,429
固定負債		
長期借入金	1,030,482	1,415,451
繰延税金負債	149,601	134,891
役員退職慰労引当金	23,128	22,892
退職給付に係る負債	75,095	87,655
その他	84,859	78,087
固定負債合計	1,363,167	1,738,978
負債合計	6,399,524	6,480,408
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,095,260	1,095,260
資本剰余金	904,125	904,125
利益剰余金	9,004,322	9,426,147
自己株式	△182,442	△182,442
株主資本合計	10,821,266	11,243,091
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	349,567	287,177
為替換算調整勘定	234,575	235,717
退職給付に係る調整累計額	63,062	62,238
その他の包括利益累計額合計	647,205	585,133
純資産合計	11,468,472	11,828,225
負債純資産合計	17,867,996	18,308,633

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	8,765,796	9,269,596
売上原価	6,999,126	7,299,313
売上総利益	1,766,669	1,970,282
販売費及び一般管理費		
運搬費	208,549	211,709
役員退職慰労引当金繰入額	4,238	1,018
給料及び賞与	275,588	311,221
賞与引当金繰入額	67,744	63,307
役員賞与引当金繰入額	11,020	12,842
退職給付費用	5,398	4,007
減価償却費	27,666	31,277
貸倒引当金繰入額	△476	△30
その他	484,709	482,146
販売費及び一般管理費合計	1,084,438	1,117,500
営業利益	682,231	852,782
営業外収益		
受取利息	1,680	2,561
受取配当金	10,685	10,735
為替差益	162,181	—
その他	51,760	26,981
営業外収益合計	226,307	40,278
営業外費用		
支払利息	7,699	11,725
為替差損	—	65,905
減価償却費	5,098	4,496
その他	2,576	1,961
営業外費用合計	15,374	84,089
経常利益	893,164	808,971
特別利益		
投資有価証券売却益	13,500	—
特別利益合計	13,500	—
特別損失		
固定資産除却損	331	5,487
会員権評価損	2,212	—
役員退職特別功労金	200,000	—
特別損失合計	202,544	5,487
税金等調整前四半期純利益	704,119	803,483
法人税、住民税及び事業税	96,645	266,972
法人税等調整額	135,181	△39,972
法人税等合計	231,826	227,000
四半期純利益	472,293	576,483
親会社株主に帰属する四半期純利益	472,293	576,483

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	472,293	576,483
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	100,394	△62,389
為替換算調整勘定	△49,831	1,141
退職給付に係る調整額	84	△824
その他の包括利益合計	50,647	△62,072
四半期包括利益	522,940	514,411
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	522,940	514,411
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	704,119	803,483
減価償却費	453,235	445,582
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△476	△30
賞与引当金の増減額(△は減少)	73,911	△3,918
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△23,030	△3,437
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△346,615	△236
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	—	△57,968
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△75,770	12,560
受取利息及び受取配当金	△12,365	△13,296
支払利息	7,699	11,725
為替差損益(△は益)	△136,305	88,148
固定資産除却損	331	5,487
投資有価証券売却損益(△は益)	△13,500	—
会員権評価損	2,212	—
役員退職特別功労金	200,000	—
売上債権の増減額(△は増加)	△308,278	△88,883
たな卸資産の増減額(△は増加)	△46,047	△84,368
仕入債務の増減額(△は減少)	91,389	9,315
未払金の増減額(△は減少)	50,011	27,361
その他	161,721	△105,729
小計	782,242	1,045,796
利息及び配当金の受取額	12,470	7,487
利息の支払額	△8,664	△24,371
役員退職特別功労金の支払額	△200,000	—
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△376,183	△160,698
営業活動によるキャッシュ・フロー	209,865	868,213
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△15,679	△18,151
定期預金の払戻による収入	3,252	—
有形固定資産の取得による支出	△538,990	△225,064
無形固定資産の取得による支出	△7,048	△6,993
投資有価証券の取得による支出	△121,476	△158,967
投資有価証券の売却による収入	18,300	—
その他	62,979	△2,280
投資活動によるキャッシュ・フロー	△598,662	△411,456
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	△100,000
長期借入れによる収入	—	500,000
長期借入金の返済による支出	△70,703	△390,535
配当金の支払額	△123,969	△154,271
リース債務の返済による支出	△8,190	△8,190
財務活動によるキャッシュ・フロー	△202,863	△152,997
現金及び現金同等物に係る換算差額	△8,237	△7,421
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△599,898	296,338
現金及び現金同等物の期首残高	3,559,533	3,590,770
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,959,635	3,887,108

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
	車両関連部品 事業				
売上高					
外部顧客への売上高	8,339,059	426,736	8,765,796	—	8,765,796
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	8,339,059	426,736	8,765,796	—	8,765,796
セグメント利益	893,400	64,365	957,766	△275,535	682,231

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連続ねじ締め機、ねじ連綴体及び柑橘類皮むき機等の製造販売の新規事業品等事業であります。

2. セグメント利益の調整額△275,535千円には、報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
	車両関連部品 事業				
売上高					
外部顧客への売上高	8,675,286	594,309	9,269,596	—	9,269,596
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	8,675,286	594,309	9,269,596	—	9,269,596
セグメント利益	1,032,362	99,533	1,131,895	△279,112	852,782

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連続ねじ締め機、ねじ連綴体及び柑橘類皮むき機等の製造販売の新規事業品等事業であります。

2. セグメント利益の調整額△279,112千円には、報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。